

## 大田三中学校の生徒の皆さんへ

### ー 「グッド・バイ・マイ…」を観劇してー

全校演劇の上演、お疲れ様でした。

今回取り組まれた「GoodByMy…」は、昨年に増して難しい脚本だったと思います。

時間のない中で、しっかりと舞台を作り上げるのは大変だったことでしょう。

抽象劇は、一目見てどんな場所なのか、どんな役なのかわかりませんから、観客にわかってもらうことができなければ、まったく伝わらない劇になってしまいます。

今回作られた舞台は、左右の対照的な白と黒の門、中央の灰色の台がモノトーンで統一されており、見栄えのする装置ができていました。

舞台装置、衣装、音響、照明などが効果的に雰囲気を作ることで、観客を非現実の世界にうまく引き込むことができていたと思います。すべてを調整する演出は大変だったでしょう。

3日前に見せてもらった時に比べて、セリフ等もしっかり出ており、役者の演技も良かったですよ。

最後のシーンで黄郎が立ち止まり、「何か言いたげな後ろ姿」がしっかりと演技で伝わってきました。これは、そこまでキャスト・スタッフ全員の手で作り上げてきた雰囲気がしっかりと形になったものだと思います。

もちろん練習不足であったり、脚本と違うセリフを言ってしまったところはあると思いますが、観客は脚本を見て採点しているわけではありませんから、間違いということはありません。テクニックの上手下手ではなく、中学生のあなたたちが、今この劇を演じること自体が意味あることであり、観客の心に訴えるものがあります。

大事なのは「観客の心に何が伝えられたか」です。

今回の上演で、この脚本自身の強いメッセージ性、そしてこの脚本を形にするうえで感じたあなたたちの思いがしっかりと観客に伝わっていたと思います。

感動しましたし、すごく元気をもらったような気がします。ありがとうございました。

2017年11月5日

劇研「空」 松本領



太